

様式第2号（第5条関係）

考查項目別集計表

工事年度		年度		工事番号			第		号		工事主管課名																					
工事名					契約金額（最終）							円																				
請負者名					工期		自		年 月 日		完成年月日		年 月 日																			
考查項目		評定者		第1評定者							第2評定者							第3評定者														
		職名 氏名		印							職名 氏名							印														
評定者	項目	細別	考查事項																								履行状況			判定		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	計/該当事項	%	判定	指導	総合	
第1評定者	1 施工体制	I) 施工体制一般																									/					
		II) 配置技術者																										/				
	2 施工状況	I) 施工管理																										/				
		II) 工程管理																										/				
		III) 安全管理																										/				
		IV) 対外関係																										/				
3 出来形及び 出来ばえ	I) 出来形																										/					
	II) 品質																										/					
5 創意工夫	I) 創意工夫	別紙-1⑫～⑮に記入し添付する。																								/						
6 環境対策	I) 環境対策	別紙-1⑯に記入し添付する。																								/						
第2評定者	2 施工状況	I) 施工管理																									/					
		II) 工程管理																									/					
		III) 安全管理																									/					
	4 高度技術	I) 高度技術	別紙-2③～⑥に記入し添付する。																								/					
7 社会性等	I) 地域へ貢献等																										/					
8 法令遵守等		別紙-2⑧に記入し添付する。																								/						
第3評定者	3 出来形及び 出来ばえ	I) 出来形																									/					
		II) 品質																									/					
		III) 出来ばえ																									/					

- 注) 1. 当該工事に該当しない項目は□として、残りの項目数を該当事項に記入する。
 2. 考查事項の該当する□にレマークを記し、レマークの数を計に記入する。
 3. 計/該当事項×100 を%に記入する。(四捨五入により整数とする。)
 4. 履行状況判定欄に3により a, b, c, d のいずれかを記入する。
 5. 指導を行った場合には、指導欄にレマークを記入する。
 6. 判定総合欄に a, b, c, d, e のいずれかを記入する。指導を行った項目には、別紙により c, d, e のいずれかを記入する。
 7. 空欄を除いた評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価以下とする。
 8. 創意工夫、環境対策、高度技術は、別紙-1⑫～⑮及び別紙-2③～⑥、⑧の内評定に使用した用紙を添付し、そのほかの用紙は不要とする。